

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 使用構造材料等







※印は、W/C 60%以下
A E減水剤使用

適用箇所	種 類	設計基準強度	スランプcm
捨コンクリート	普通	$F_c = 18$	15
土間コンクリート	普通	$F_c = 21$	15
基礎、基礎梁、耐圧版	普通	※ $F_c = 21$	15
柱、梁、床、壁	普通	※ $F_c = 21$	18
押えコンクリート	普通	$F_c = 18$	18

(3) 鉄筋	材 料	径	使用箇所
異形鉄筋	SD295A	D10, D13, D16	構造躯体
	SD345	D19	構造躯体

(5) 鉄筋記号	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記 号	-	×	∅	●	○	⊕	⊗	⊘	⊙

(6) 隣り合う継手位置要領	継手種類	a	要 領 図
重ね継手の場合	フック	$a = 0.5L$	
	ある場合	$a \geq 0.5L$	
	フック	$a = 0.5L$	
	ない場合	$a \geq 0.5L$	

(8) 鉄筋の折曲げ					記号 d : 鉄筋呼び寸		
	折曲げ 角度	折 曲 げ 図	使用箇所	鉄筋の 種 類	折り曲げうちのり寸法 D		鉄筋の 余 長
					D 1 6 以下	D 1 9 ~ D 3 8	
末 端	180		柱・梁の 主筋 等 D 1 6 以上	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	4 d 以上
	135		あばら筋 帯 筋 D 1 3 以下	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	6 d 以上
	90		T・L形の あばら筋	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	8 d 以上
中 間 部	90 以下		あばら筋 帯 筋 スパイラル筋	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	
			その他の鉄筋	SD295A SD345	4 d 以上	6 d 以上	

(2) 鉄筋の最小かぶり厚さ	コンクリートの種類	普通コンクリート
構造部分の種類		
土に接しない部分	柱・梁・耐力壁	30 mm
土に接する部分	柱・梁・スラブ・壁	40
	基礎・擁壁	60

(4) 継手及び定着長さ	鉄筋の種類	コンクリートの設計規準強度の範囲 (Kg/cm ²)	継手及び定着長さ
SD295A SD345	210以上 270未満	40d または 30dフック付	L1 L2
		35d または 25dフック付	

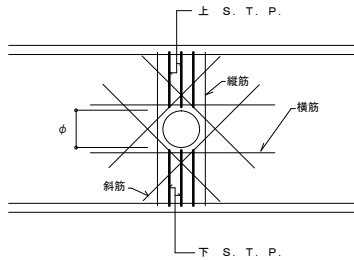
(注) 1. L1: 継手並びに2. 以外の定着長さ。
2. L2: 割裂破壊のおそれのない箇所への定着長さ。



(9) 鉄筋間隔とあき	間隔	あき
(注) d: 呼び名の数値 D: 鉄筋の最外径		
間隔の最小値	公称直径の1.5倍+最外径	粗骨材最大寸法の1.25倍+最外径
あきの最小値	呼び名の数値の1.5倍	粗骨材最大寸法の1.25倍 25mm

2. 梁貫通補強要領

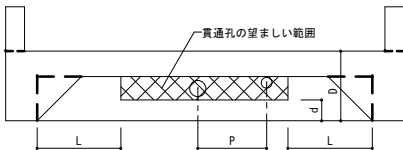
φ	D	D ≤ 450				D ≤ 600			
		イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ
φ ≤ 100		II				II			
100 < φ ≤ 150		II				II			
150 < φ ≤ 200						II		III	



記号		イ	ロ		ハ	ニ	
あばら筋	径	D 10	D 10	D 13	D 13	D 13	D 13
	間隔	200	150	200	150	125	100

補強種別	斜筋	縦筋	横筋	上下S. T. P.
II	4-a-D13	2x1-a-D13	2-a-D13	a-D13@80
III	4-a-D13	2x2-a-D13	2-a-D16	

a: 貫通のあく梁のスターラップの総本数

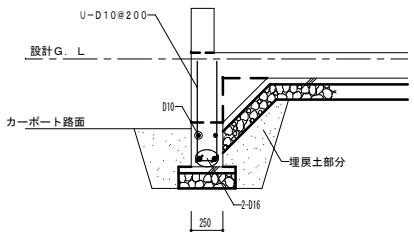


細 則

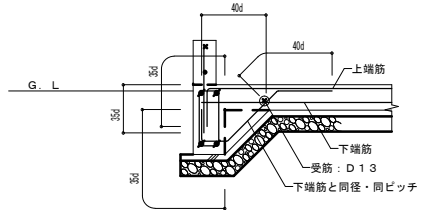
- 最小ピッチ $P \geq 3(\phi 1 + \phi 2) / 2$
- 孔の上下位置 $D < 500$: $d \geq 125$
 $500 \leq D < 600$: $d \geq 150$
 $600 \leq D < 700$: $d \geq 175$
 $700 \leq D < 900$: $d \geq 200$
 $900 \leq D$: $d \geq 250$
- 最大孔径 $\phi \leq D/3$
- 孔の中心位置 $L \geq 1.2D$
- 補強を要さない孔径 $\phi \leq D/10$ かつ $\phi \leq 150$ かつ
スターラップを切断しないで施工可能な径

3. 地中梁増打ち補強

軟弱な埋戻土にべた基礎が載る場合は埋戻土の地盤改良を行う。



4. 耐圧版の定着



NOTE

株式会社アイマーク一級建築士事務所
一級建築士事務所登録: 第12842号
一級建築士大臣登録: 第193494号
国本 正和

SCALE
DATE H 2 8 . 8

JOB NAME 平成28年度 表丹沢野外活動センター普の生活学習館(仮称)建設工事
TITLE RC標準図